

荒井千佐代

句集
系図

朝日新聞社

向
き
変
へ
て
太
き
船
笛
鳥
ぐ
も
り

す
ひ
か
づ
ら
石
組
み
弛
む
船
渠
跡

潮
の
香
の
朝
よ
り
濃
か
り
梅
雨
の
入

大
門
ま
で
茅
の
輪
の
青
き
匂
ひ
せ
り

篝
火
の
煤
の
降
り
来
る
茅
の
輪
か
な

聖鐘撞く尼の夏衣の裾揺らし

手拭ひのごはごは乾く終戦日

トラツクより下ろす新船雲の峰

尋ねゆく蚤路地日傘ほどの幅

乳児室に日のまはりきし鴉高音

みどり子のスワンのおまる冬暖か

歩き初む健太の高さ冬の蝶

祝婚歌弾く半身は薔薇の蔭

和布刈神事へ旅の鞆の潮見表

潮待ちの祈祷かそけし和布刈禰宜

耶蘇の血の我れに生いき月つき島き涼しかり

夏期講座イエスの系図より説かる

今死なば炎の中ならむ曼珠沙華

ペテロめく髭の漁師に太た刀ち魚貫ふ

とぐる巻く触へ網づ纜しぐれけり

月つき夜よ間まの網繕へり遠千鳥

垣間見し漁夫の炬燵の上の聖書

十戒を口にしてをり虎落笛

舟降りし漁夫寒月へものを言ふ

黒松の鱗の反りや雁渡し

絵硝子の天使飛び立つ初日かな

冬ぬくし欄外までも書く日誌

浦深く隠れの裔の田水張る

異教徒の夫に蹤きゆく日の盛り

煉獄への道の半ばや大夕焼

亡母の柔の「ヨハネの黙示」より曝す

ザビエル祭暗き雲より日矢の束

十指深く鍵盤キに沈めて弥撒納め

磔像の悲しみに脱ぐ冬帽子

樽散るときをり莫塵のみどり子に

先 触れ の 千草 薙ぐ 風 鷹 渡る

聖 午鐘 の ひびき の 中 や 鷹 渡る

玄 関 に 潮 の 満ち くる 冬至 かな

雨 が 雪 に 変はる 深山 や 句碑 開き

涅槃 雪 いま 生れし 句碑 つつみ 降る

極彩の築の剥落あぶらまじ

近づけば帆柱太し燕の子

うぐひすや朱のみ定かに天井絵

オランダ坂真つ正面より大南風

父の傍たれの傍より涼しかり

いつものところに父の庭下駄土用の芽

能面の下の喉や十三夜

らんたんの届かぬ路地や猫の恋

雛を出すお遊戯室の天袋

草の実や憂きことはみな主の御手に

著者略歴

荒井千佐代（あらい・ちさよ）

昭和24年3月24日 長崎県長崎市に生まれる
平成3年 「沖」入会
平成9年 「沖」新人賞受賞 同人となる
平成10年 第一句集『跳ね橋』上梓
平成10年 「沖」俳句コンクール一席
平成11年 長崎県文学新人賞受賞
平成12年 第3回朝日俳句新人賞受賞
平成13年 第2回市川手兎奈文学賞受賞
俳人協会会員・「沖」「沖長崎」同人
長崎大学準職員 保育士

現住所〒852-8065 長崎市横尾3-28-16
TEL・FAX 095-856-5165

2002年3月24日 第一刷発行

句集 系図

著者 荒井千佐代

発行者 大上朝美

発行所 朝日新聞社

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2

電話 03(3545)0131 (代表)

編集 ウェブ編集室

俳句朝日編集部

販売 出版販売部

振替 00190・0155414

印刷 株式会社東京印書館

※定価はカバーに表示してあります

ISBN4-02-330698-3